

# 新たな切り捨てねらう 子ども・お年寄り・貧困家庭…

## 下水道料減免廃止

また、高島市政は、生活保護世帯に下水道料減免の廃止を通知。1世帯平均年1万5600円の負担増となり、日本共産党は議会で撤回を要求。市側は議会でも「生活と健康を守る会」の対市交渉でも廃止の根拠となる法令を示すことはできませんでした。

## 人工島進出企業にはポンと22億円

高島市政は12月議会で予算補正をおこない、人工島進出企業への交付金を22億円に増やしました。また、都市高速道路を福岡空港国内線ターミナル付近まで延伸するための議案も提案。わずか10分程度の時間短縮に総額500億円もかけるものです。

これ以外にも市長は、巨大開発となる「天神ビッグバン」、数千億円かかる「ウォーターフロント地区の再整備」などに熱中しています。



## エアコンあるのに使わせない! 教室の暖房使用認めよ

### 記録的 寒波

### 市教委に緊急要請

1月23~25日にかけて福岡市など九州北部は記録的な寒波に見舞われ、日本共産党福岡市議団は、学校教室にエアコンがあるのに暖房使用を認めない市教育委員会の方針をあらため、暖房使用などを認めるよう市教委に対して1月25日申し入れました。

### 「衣服で調整が可能」!

市の小学校にはエアコンがすでに設置されていますが（中学校は今年夏設置予定）、市教委は電気代などを理由に「衣服による調整が可能」として暖房使用を認めていません。また、実際には多くの学校現場で授業中の防寒着の着用も認められていません。

### 国の基準でも「10℃以上」

文部科学省の学校環境衛生基準は教室の温度は「10℃以上が望ましい」としており、市教委の姿勢はこの法令にもそむくものです。

市教委に申し入れをする共産党市議団



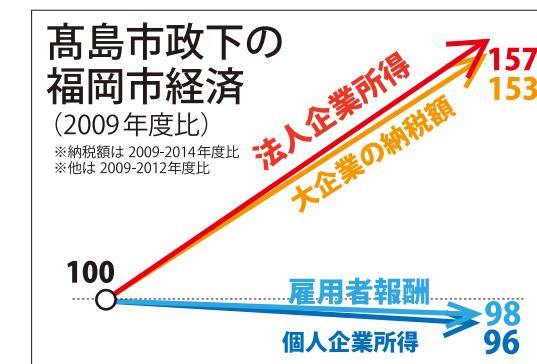
## 市長は「圧倒的福岡時代」と豪語するが…

### 高島市政 のもと

## 格差と貧困が広がる

星野市議は、大型開発優先で市民犠牲を強いており、市民生活応援を転換し、「市民生活応援の施策をおこなうべきだ」と市長に迫りました。

市教委は、暖房使用を認めないと実際には多くの学校現場で授業中の防寒着の着用も認められていません。また、実際には多くの学校現場で授業中の防寒着の着用も認められていません。



## 高齢者乗車券・敬老金カット 就学援助切り下げ

福岡市は、国の生活保護基準切り下げに連動させて就学援助を切り下げ、4月から市内1700人の子どもが適用外に――今でも福岡県では子ども

の4人に1人が貧困に陥っているのに、いつそう広げることになります。日本共産党市議団は、決算議会で切り下げるやめるよう求めるとともに、国会議員らとともに政府にも交渉をおこないました。

高島市長は、「配る福祉から支える福祉へ」などと、高齢者乗車券と、現在80歳、88歳、100歳以上に節目支給している敬老金を大幅に縮減することを打ち出しました。

日本共産党市議団は、決算議会で12月議会などで「市民犠牲やめよ」と対決してきました。

高島市長は、年末から年頭にかけて「福岡市の税収が過去最高」と「自慢

し、いつそう大企業などに注ぎ込もうとしています。一方、市民むけ施策に

ついては、さらに切り捨てをすすめています。日本共産党市議団は、決算議会・

12月議会などで「市民犠牲やめよ」と対決してきました。

熊谷市議が「東図書館における指定管理者制度の導入は、やめるべきだ」と直営での運営を迫ると、教育長は「民間能力の活用をはかるため、指定管理者制度を導入する」と答弁しましたが、他方「図書館行政の根幹にかかる部分は行政が責任をもつ

た」と述べました。また、熊谷市議は、日比谷花壇が選定された理由が「花と緑を楽しみながら閲覧できる憩いの空間づくりとしての花図書館」とされている点をとりあげ、図書館法には図書館サービスの目的にこのような項目はない、選定の仕方がおかしい

と指摘しました。また、熊谷市議は、日比谷花壇が選定された理由が「花と緑を楽しみながら閲覧できる憩いの空間づくりとしての花図書館」とされている点をとりあげ、図書

館法には図書館サービスの目的にこのようないとの当局試算を示して、直営をやめる根拠がない、③民間業者の利益を生むための根幹にかかる部分は行政が責任をもつた」と述べました。

東図書館が入るとされる千早駅前の公共施設の完成予想図→（市のホームページより）



議案質疑をする熊谷市議

高島市長は、千早駅前公共施設内でリニューアルされる東図書館の管理運営を「紀伊國屋」と「日比谷花壇」に任せせるための議案を12月議会に提出。日本共産党的熊谷敦子市議が議案質疑に立ちました。

## 公立図書館の役割後退 「直営で運営を」共産党が質疑

### 継続性、コスト、職員待遇、個人情報・問題つきぱり

決算議会で星野美恵子市議は福岡市三 大庭園の一つ「楽水園」で管理が民間業者にかわってからずさんな 管理が行われていることを告発。 指定管理者の調査・是正を要求しました。

### 公園の指定管理是正を

## 余熱利用施設廃止しないで

クリーンパーク東部（清掃工場）余熱利用センター（風呂）の廃止方針について、綿貫英彦市議は12月議会で市が地元住民に説明せず に強行しようとしていることを批判。廃止中止を求めました。

## 香椎線駅有人化を

## 309項目の新年度予算要望を提出



日本共産党市議団は12月7日、新年度予算編成に関する重点要望を高島市長に提出しました（左写真）。アベノミクスや大企業応援など安倍政権への追隨を改めるとともに、中3までの通院費無料化や国保料・介護保険料引き下げ、住宅リフォーム助成制度創設、ブラック企業対策強化など309項目を要望しました。実現へむけて全力をあげます。

## 市立図書館の管理運営に民間が参入!?



### はじめて

熊谷市議は①指定管理者では期間が決まっており継続性がそこなわれる危険がある、②直営にした場合と指定管理にした場合のコストの差が月2800円しかないなどの当局試算を示して、直営をやめる根拠がない、③民間業者の利益を生むための根拠がない、④利用者の個人情報が守られない恐れがあり、市民一人ひとりの利用情報を民間業者がにぎることになる、と警告しました。

市議会でも、日本図書館協会の報告でも、図書館サービスの「基本」は「住民の求められる資料や情報を提供すること」とされていました。市議会では共産党を含め3会派が反対しました。



